



トマト革命の最前線「トマト・イノベーション」も特別展示 都内で農業関連の新技术展示会を開催！

アグロ・イノベーション2017

- 期日：10月4日(水)～6日(金)
- 場所：東京ビックサイト 東7ホール
- 主催：(社)日本能率協会
- 内容：出展者のプレゼンテーション、各種セミナー、情報交換会等

群馬県の企業参入を積極的にPR！

農業生産と青果物流通技術の専門展示会である「アグロイノベーション 2017」が開催され、民間や官公庁等から92社・団体が、農産物の生産から加工、流通、販売用の技術・サービスを来場者にアピールしました。また、全国145研究機関が有する農林水産・食品分野などの最新研究成果をわかりやすく紹介する「アグリビジネス創出フェア 2017」も同時開催され、「技術で実現！農林水産業の競争力強化！！」をテーマに実用化や製品化に向けて企業等の来場者に研究成果を売り込んでいました。(来場者は3日間で1万1千人以上)

群馬県ブースからは、企業の農業参入事例紹介や農業参入に関する本県の基本方針や具体的な参入の手続き等に関する資料を配付し、本県の農業の特徴や県内の農業参入企業の動向等を来場者に説明して、県内への農業参入相談を行いました。

最新の研究成果を来場者にPR！

今回は、施設園芸で最も生産量の多い「トマト」を切り口に、生産・流通に関する技術、サービス、情報が一堂に会する特別展示「トマト・イノベーション」も開催されました。種苗メーカー10社による約30種類のトマト試食コーナー、高付加価値トマトの流通に欠かせない包装の実演展示、施設園芸先進国オランダや日本のハウス技術等を展示し、最新技術や多彩な製品等をPRしていました。

また、宇都宮大学農学部からは、培養技術で育成した新野菜「香味菜」2種類「チンゲンルッコラ」(チンゲンサイ×ワイルドルッコラ)と「ケールルッコラ」(ケール×ワイルドルッコラ)が紹介されました。これらはルッコラ特有の風味が特徴で、栃木県内で試験栽培が行われ、今年から日光種苗(株)で販売されているとのことでした。

植物保護コンソーシアム事務局からは、トマトのコナジラミ類等を総合防除する天敵製剤「タバコカスミカメ」を使用した安全・安心な新防除体系、紫外光ランプと光反射シートを利用したうどんこ病とハダニ類の同時防除技術、チョウ目害虫のほ場内への飛来を超音波で阻害する農薬に頼らない防除体系等が紹介されました。



群馬県ブースの様子



トマト・イノベーション試食の様子



宇都宮大学「香味菜」の様子



コナジラミ類等の新防除体系の様子